



**Accelerating our  
self-transformation to become  
Your Value Partner**

# 自己変革を加速し、 『Your Value Partner』へ

## Contents

トップメッセージ	2	<b>Operation</b>	
<b>Overview</b>		<b>セグメント別営業概況</b>	
自己変革を遂げてきたNTTグループ	10	地域通信事業	74
NTTグループの自己変革の歩み	12	長距離・国際通信事業	76
NTTグループフォーメーション	14	移動通信事業	78
業績ハイライト	16	データ通信事業	80
非財務ハイライト	18	その他の事業	82
株主還元	19	NTTグループの年間トピックス	84
<b>Strategy</b>		財務セクション	86
価値創造プロセス	20	関係会社の状況	98
新中期経営戦略の骨子	22	用語解説	99
<b>特集</b>		株式情報	101
次世代のスマートシティ化に向けた取り組み	24		
研究開発	30		
ESG経営による企業価値向上	36		
環境・社会への貢献を通じた価値創造	38		
マテリアリティの具体例			
① 環境負荷の低減	38		
② 情報セキュリティ・個人情報保護の強化	44		
③ 多様な人材の活躍に向けた取り組み	48		
NTTグループのステークホルダー・			
エンゲージメントの基本的な考え方	54		
コーポレート・ガバナンス	56		

### 将来の見通しに関する記述についての注意

本報告書に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述は、現在当社の経営陣が入手している情報をもとに行なった判断・評価・事実認識・方針の策定などに基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされ、もしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場、その他の状況変化などによる変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本報告書に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述と異なる可能性があります。

### 編集方針

本報告書は、成長戦略や業績動向等に加え、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)といった株主・投資家の皆さまにとって重要性が高い情報を統合することにより、NTTグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをご説明することに主眼を置いた統合レポートとしています。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」を参考にしています。選ばれ続ける「Your Value Partner」として事業構造の変革を加速するとともに、持続可能な社会の実現に貢献していくことで企業価値の向上をめざすNTTグループへのご理解の一助になれば幸いです。

### その他の情報

- ▶ 株主通信「NTTis」  
[www.ntt.co.jp/ir/library/nttis/](http://www.ntt.co.jp/ir/library/nttis/)
- ▶ 各種説明会資料  
[www.ntt.co.jp/ir/library/presentation/](http://www.ntt.co.jp/ir/library/presentation/)
- ▶ 株主総会関連資料  
[www.ntt.co.jp/ir/shares/shareholders\\_meeting.html](http://www.ntt.co.jp/ir/shares/shareholders_meeting.html)
- ▶ 決算短信等  
[www.ntt.co.jp/ir/library/results/](http://www.ntt.co.jp/ir/library/results/)
- ▶ 有価証券報告書等  
[www.ntt.co.jp/ir/library/yuho/](http://www.ntt.co.jp/ir/library/yuho/)
- ▶ サステナビリティレポート  
[www.ntt.co.jp/csr/report.html](http://www.ntt.co.jp/csr/report.html)